

## 平成20年3月期 第2四半期財務・業績の概況

平成19年10月29日

上場会社名 HOYA株式会社  
 コード番号 7741  
 代表者 代表執行役CEO 鈴木 洋  
 問合せ先責任者 CFO 江間 賢二

上場取引所 東証一部  
 URL <http://www.hoya.co.jp>  
 TEL (03) 3952-1160

1. 平成20年3月期第2四半期の連結業績（平成19年7月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円未満切捨）

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第2四半期	100,980	1.9	26,849	△ 4.5	28,119	9.4	21,020	△ 8.2
19年3月期第2四半期	99,079	16.6	28,126	13.7	25,700	△ 4.7	22,899	23.1
19年3月期	390,093	-	107,213	-	102,909	-	83,391	-

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円	円
20年3月期第2四半期	48.64	48.55
19年3月期第2四半期	53.16	52.96
19年3月期	193.50	192.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
20年3月期第2四半期	683,610	401,907	57.5	908.55
19年3月期第2四半期	417,361	322,690	76.9	745.06
19年3月期	447,644	367,145	81.6	845.98

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第2四半期	30,450	△ 84,120	92,930	166,108
19年3月期第2四半期	35,017	△ 14,741	△ 22,256	98,685
19年3月期	98,793	△ 46,652	△ 23,891	120,621

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
19年3月期	円	円	円	円	円
20年3月期		30.00		35.00	65.00
20年3月期(予想)		30.00	—	—	—

(注) 配当金額の予想は公表しておりません。

3. 平成20年3月期 通期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

当社は、四半期決算においても本決算と同程度の情報を迅速に開示し、証券アナリストをはじめとした市場参加者の方々に適切な業績予想を行っていただけるように配慮しておりますが、参考として、第1四半期(4月1日より6月30日まで)の決算発表時(7月)に中間期の連結業績予想を公表し、第3四半期(10月1日より12月31日まで)の決算発表時(翌年1月)に通期の連結業績予想を公表する予定であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
[ 新規 10社(社名 ペンタックス(株)他) ]

(注) 詳細は、8ページ「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその変更」をご覧ください。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容) 減価償却方法の変更、セグメント区分の変更

(注) 詳細は、8ページ「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその変更」をご覧ください。また当社は、当四半期に株式の公開買付けによりペンタックス株式会社の発行済株式総数の過半を保有することとなりましたので、当四半期より連結の範囲に含めておりますが、損益計算書は第3四半期(平成19年10月1日から始まる3ヶ月間)からの連結になります。詳細は、18ページ「企業結合等関係」をご覧ください。

※ 本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。当資料に掲載されている予想数字あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時点の判断によるものですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。

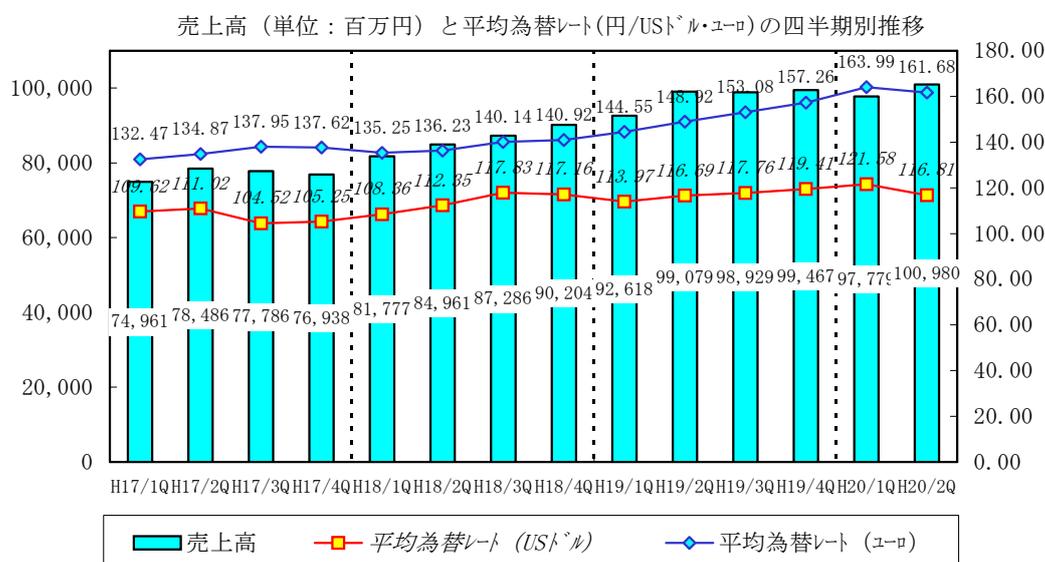
# [ 定性的情報・財務諸表等 ]

## 1. 当第2四半期の経営成績

### ①全般の状況

		前年同期比増減率または金額
・売上高	: 100,980 百万円	( 1.9 %)
・営業利益	: 26,849 百万円	( △ 4.5 %)
・経常利益	: 28,119 百万円	( 9.4 %)
・四半期純利益	: 21,020 百万円	( △ 8.2 %)
・1株当たり四半期純利益	: 48.64 円	( △ 4.52 円)

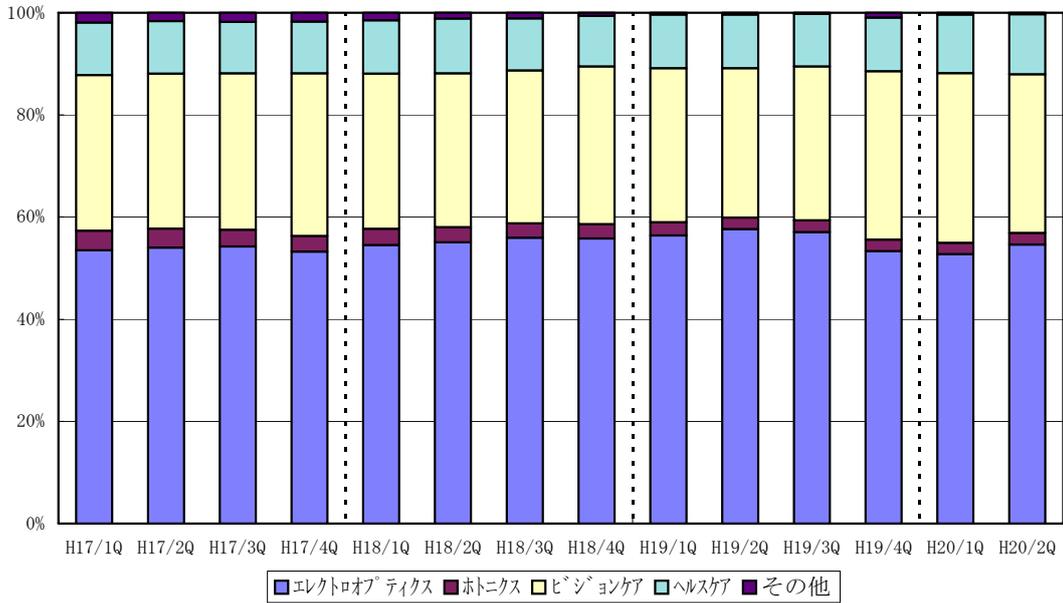
- 当四半期の経済状況は、資源価格の上昇等によるコスト上昇を背景に、中小企業では景況感の悪化が見られましたが、大企業製造業は依然として高水準を維持し、全体としては横ばい傾向となりました。設備投資は引き続き堅調で、雇用環境も改善傾向が見られました。
- そうしたなか当社グループでは、エレクトロオプティクス（EO）部門では、主要製品の多くは高精度品を中心に堅調に推移したものの、一部の製品で、価格低下や新製品への対応の遅れ等から前年同期に比べて売上が減少しましたので、EO部門全体では減収減益となりました。ビジョンケア部門では、メガネレンズの海外市場が堅調な伸びを示し、前年同期に比べて増収増益となりました。ヘルスケア部門も前年同期に比べて増収増益となりました。
- その結果、当四半期は、グループ全体では売上高および経常利益は前年同期に比べて増加し、ともに四半期ベースの過去最高を更新しました。営業利益、四半期純利益は前年同期に比べて減少しましたが、第1四半期に比べますと増益となりました。



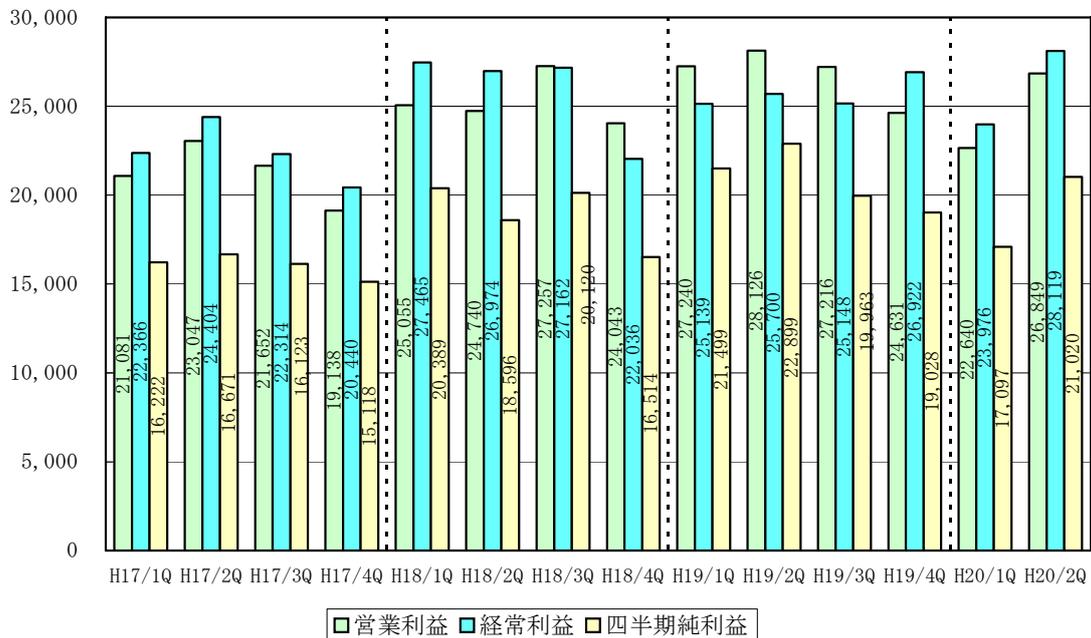
(注) 四半期推移のグラフの横軸の項目の表記は、決算期と四半期別を表しております。

例：「H20/2Q」は、平成20年3月期の第2四半期（当第2四半期：平成19年7月1日～同9月30日）を、同様に「H19/2Q」は、平成19年3月期の第2四半期（前第2四半期：平成18年7月1日～同9月30日）を意味します。

部門別売上高構成比の四半期別推移



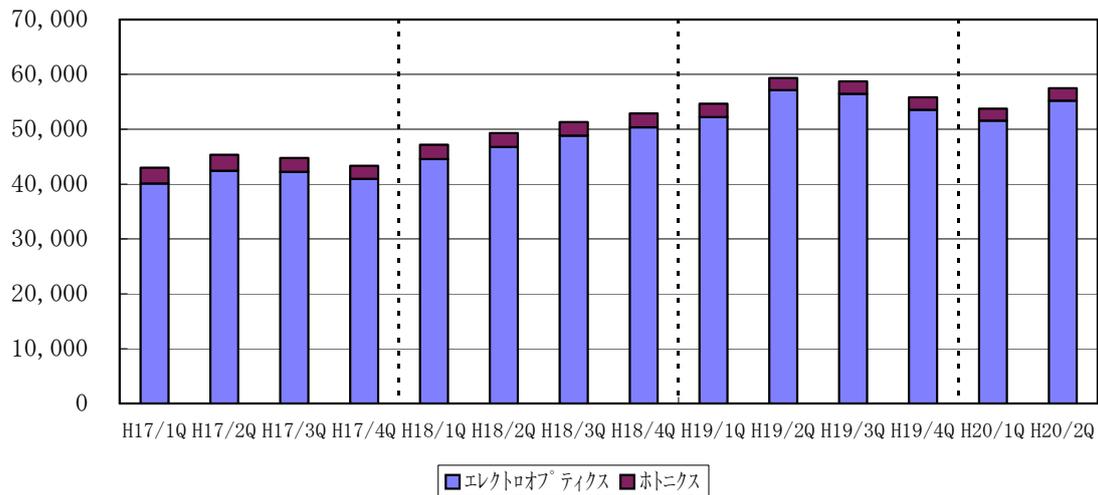
利益状況の四半期別推移 (単位：百万円)



## ②部門別の状況

	売上高	：	売上高	：	前年同期比増減率
(1) 情報・通信分野	57,457	百万円	( △ 3.2 % )		
○エレクトロオプティクス	55,186	百万円	( △ 3.4 % )		
○ホトニクス	2,271	百万円	( 2.2 % )		

情報・通信分野の売上高の四半期別推移（単位：百万円）



### エレクトロオプティクス

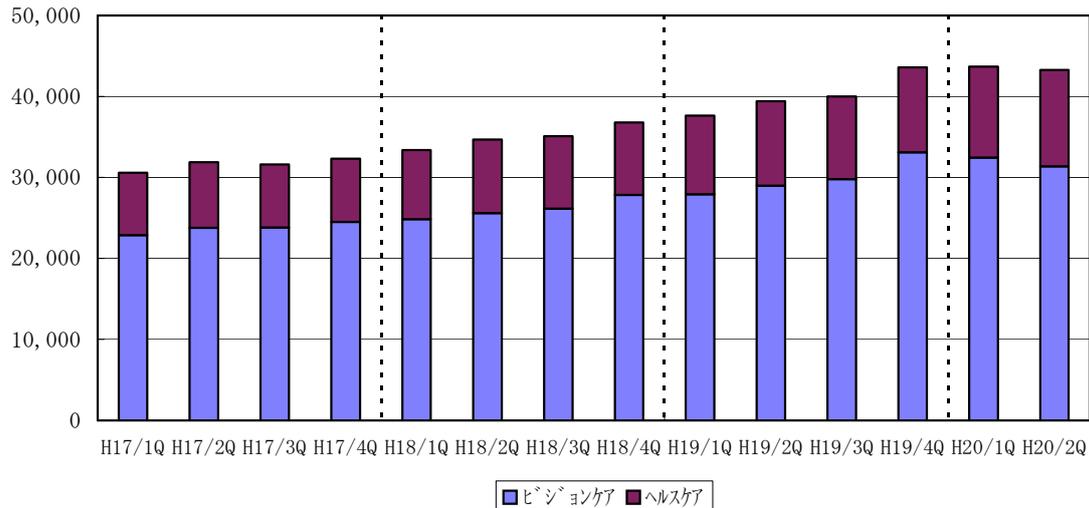
- ・半導体製造用のマスクブランクスは、位相シフトマスク用ブランクス等、高精度品の受注が増加し、前年同期に比べて増収となりました。
- ・半導体製造用のフォトマスクは、高精度品および次世代向け開発品の受注の増加により前年同期に比べて増収となりました。液晶用大型マスクは、液晶パネルメーカー各社でパネル価格の下落があり、受注獲得のためのマスクメーカー間の競争も激化したため、前年同期に比べて減収となりました。
- ・HDD（ハードディスク装置）用ガラスディスクは、社内における垂直記録方式の立ち上げの遅れを主要因として、前年同期に比べて減収となりましたが、第1四半期に比べますと増収になりました。
- ・光学レンズは、非球面モールドレンズのみならず研磨レンズも含めてデジタルカメラ・VTR向けが好調に推移し、前年同期に比べて増収となりました。

### ホトニクス

- ・レーザーを利用した産業用機器、医療用機器が主力製品で、産業用では半導体、液晶パネルおよび光学機器等のメーカーを顧客としております。前年同期に比べて増収となりました。

(2) アイケア分野		売上高	： 43,278 百万円	前年同期比増減率 ( 9.8 %)
○ビジョンケア	売上高	： 31,369 百万円		( 8.2 %)
○ヘルスケア	売上高	： 11,908 百万円		( 14.2 %)

アイケア分野の売上高の四半期別推移 (単位：百万円)



#### ビジョンケア

- ・メガネレンズの国内市場は依然として低迷が続いており、当社では、高機能のコーティングや新設計の累進レンズを中心とした製品の高付加価値化により高価格帯で成長しましたが、低価格帯での厳しい価格競争により、国内全体では前年同期に比べてわずかながら減収となりました。
- ・メガネレンズの海外市場では、アジア・大洋州、欧州、北米のすべての地域で新設計の累進レンズや高屈折レンズ等の高付加価値製品の販売の拡大を進めて堅調に推移しました。低価格帯レンズの価格攻勢は海外でも厳しいものがありますが、全体では前年同期に比べて増収となりました。
- ・その結果、部門全体で前年同期に比べて増収となりました。

#### ヘルスケア

- ・コンタクトレンズは、直営店舗における専門知識を活かしたコンサルティング販売により競合との差別化を図り、あわせて遠近両用レンズ等の高付加価値商品の販売拡大により前年同期に比べて増収となりました。
- ・眼内レンズ (IOL) は、軟性 (ソフト) IOL が好調に推移し、特にイエローレンズが好評で、前年同期に比べて増収となりました。

(3) その他の事業	売上高	:	245 百万円	前年同期比増減率 ( △ 22.0 %)
------------	-----	---	---------	-------------------------

- ・その他の事業とは、クリスタル事業およびサービス事業（グループ内のシステム構築、業務請負等）であります。

## 2. 当第2四半期の財政状態

### ① 資産、負債及び純資産の状況

		当第1四半期末比増減率
・総資産	:	683,610 百万円 ( 45.7 %)
・純資産	:	401,907 百万円 ( 3.6 %)
・自己資本比率	:	57.5 %

- ・当第2四半期より、ペンタックス株式会社及びその子会社を連結範囲に含めておりますので、当第2四半期末では、当第1四半期末に比べて資産・負債ともに大きく増加しております。流動資産は、現金及び預金が、当第1四半期末に比べて36,033百万円増加したこと等により、113,613百万円増加しました。固定資産は、営業権の増加により、100,948百万円増加しました。その結果、総資産は当第1四半期末に比べて214,562百万円の増加となりました。負債合計は、ペンタックス株式の公開買付け資金として99,963百万円の普通社債を発行したことも含め、当第1四半期末に比べて200,604百万円増加しました。純資産は、利益剰余金が当第1四半期末に比べて19,146百万円増加したこと等により、13,957百万円増加しました。

### ② キャッシュ・フローの状況

・営業活動によるキャッシュ・フロー	:	30,450 百万円
・投資活動によるキャッシュ・フロー	:	△ 84,120 百万円
・財務活動によるキャッシュ・フロー	:	92,930 百万円
・現金及び現金同等物期末残高	:	166,108 百万円

- ・当第2四半期は、税金等調整前四半期純利益26,260百万円と減価償却費9,136百万円を主体とした現金の増加、および法人税等の支払額1,628百万円を主体とした現金の減少により、営業キャッシュ・フローは30,450百万円と、前年同期に比べて4,567百万円減少しました。投資活動によるキャッシュ・フローはペンタックスの株式公開買付け等に伴う支出72,097百万円と、次期製品対応投資のための支出12,267百万円等と合わせて84,120百万円の支出となり、前年同期に比べて69,379百万円の増加となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入99,677百万円等により前年同期に比べて115,186百万円増加し、92,930百万円の収入となりました。その結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は166,108百万円となり、当第1四半期末に比べて34,497百万円増加しました。

### 3. その他

(四半期連結財務情報作成のための基本となる重要な事項及びその変更)

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- ・ 連結子会社数 103社
  - 主要会社名 (海外) HOYA HOLDINGS, INC.、HOYA HOLDINGS N.V.、  
HOYA HOLDINGS ASIA PACIFIC PTE LTD, HOYA PHOTONICS, INC.
  - (国内) ペンタックス株式会社、  
HOYA CANDEO OPTRONICS株式会社、HOYAヘルスケア株式会社

- ・ 非連結子会社数 1社
- ・ 関連会社数 12社 (うち、持分法適用会社数 9社 主要会社名: NHテクノガラス株式会社)
- ・ 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

① 連結範囲 :

a. 前年同期末 (前第2四半期末=平成18年9月末) との比較=39社増加

- ・ 新規設立により5社増加
  - ・ HOYA LENS VIETNAM LTD. (ベトナム)
  - ・ HOYA HOLDINGS (ASIA) B.V. (オランダ)
  - ・ その他3社 (海外)
- ・ 買収により35社増加
  - ・ ペンタックス株式会社
  - ・ 同社連結子会社 (国内) 7社、(海外) 26社
  - ・ MORGAN OPTICAL, INC. (米国)
- ・ 子会社どうしの合併により1社減少
  - ・ HOYA CRYSTAL, INC. (米国)
  - ※HOYA CORPORATION USA(米国) に吸収合併

b. 直前四半期末 (当第1四半期末=平成19年6月末) との比較=35社増加

- ・ 新規設立により1社増加
  - ・ HOYA HOLDINGS (ASIA) B.V. (オランダ)
- ・ 買収により34社増加
  - ・ ペンタックス株式会社
  - ・ 同社連結子会社 (国内) 7社、(海外) 26社

※ 連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動 : 10社増加  
主要会社名: ペンタックス(株)、PENTAX OF AMERICA, INC.、PENTAX EUROPE GMBH、PENTAX VN CO., LTD.

② 持分法適用会社 :

a. 前年同期末 (前第2四半期末=平成18年9月末) との比較=8社増加

- ・ 3社増加
  - ・ NHテクノガラス株式会社の海外子会社3社  
※従来NHテクノガラス(株)は日本で1社として計算しておりましたが、当中間期より同社の海外子会社3社も個別にカウントするようになりました。
- ・ 買収により5社増加
  - ・ プライムオプティクス(株)
  - ・ MALAYAN ASAHI PROPERTY CORP. (フィリピン)  
等、旧ペンタックスグループの5社 (国内2社、海外3社)

b. 直前四半期末 (当第1四半期末=平成19年6月末) との比較=8社増加

- ・ 3社増加
  - ・ 同上
- ・ 買収により5社増加
  - ・ 同上

(注) 当社は、当四半期に株式の公開買付けによりペンタックス株式会社の発行済株式総数の過半を保有することとなりましたので、当四半期より貸借対照表は連結の範囲に含めておりますが、損益計算書は第3四半期からの連結になります。

	当第2四半期 平成19年 9月30日現在	前第2四半期 平成18年 9月30日現在	増減	当第1四半期 平成19年 6月30日現在
連結子会社数	103 (国内13、海外90)	64 (国内5、海外59)	+39 (国内+8、海外+31)	68 (国内5、海外63)
非連結子会社数	— (国内-、海外-)	— (国内-、海外-)	— (国内-、海外-)	— (国内-、海外-)
関連会社数	12 (国内6、海外6)	4 (国内4、海外-)	+8 (国内+2、海外+6)	4 (国内4、海外-)
(うち持分法適用会社数)	(9) (国内3、海外6)	(1) (国内1、海外-)	(+8) (国内+2、海外+6)	(1) (国内1、海外-)
合計 (うち持分法適用会社数)	115社 (9社)	68社 (1社)	+47社 (+8社)	72社 (1社)

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

- ・ ペンタックス株式会社およびその子会社を連結の範囲に含めることに伴い、事業の種類別セグメント情報における事業区分を変更しております。
- ・ 法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

## 4. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期 平成19年9月30日現在		当第1四半期 平成19年6月30日現在		増 減		前第2四半期 平成18年9月30日現在	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	増減率 (%)	金 額	構成比 (%)
(資 産 の 部)								
I. 流動資産								
1. 現金及び預金	167,643		131,610		36,033		98,685	
2. 受取手形及び売掛金	132,129		94,116		38,013		91,179	
3. たな卸資産	84,594		54,835		29,759		45,432	
4. 繰延税金資産	10,325		5,257		5,068		7,863	
5. その他	11,900		6,528		5,372		14,792	
6. 貸倒引当金	△ 2,238		△ 1,605		△ 633		△ 1,224	
流動資産合計	404,356	59.2	290,743	62.0	113,613	39.1	256,728	61.5
II. 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	42,006		35,640		6,366		30,611	
(2) 機械装置及び運搬具	75,676		75,772		△ 96		73,328	
(3) 工具器具備品	20,599		12,850		7,749		12,103	
(4) 土地	16,839		9,343		7,496		8,867	
(5) 建設仮勘定	17,295		15,056		2,239		9,474	
有形固定資産合計	172,417	25.2	148,664	31.7	23,753	16.0	134,386	32.2
2. 無形固定資産								
(1) 営業権	55,686		2,414		53,272		2,302	
(2) その他	19,941		4,288		15,653		3,549	
無形固定資産合計	75,628	11.0	6,702	1.4	68,926	—	5,851	1.4
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	20,045		15,219		4,826		12,955	
(2) 繰延税金資産	4,227		2,551		1,676		2,991	
(3) その他	7,251		5,491		1,760		4,723	
(4) 貸倒引当金	△ 316		△ 323		7		△ 274	
投資その他の資産合計	31,207	4.6	22,938	4.9	8,269	36.0	20,395	4.9
固定資産合計	279,253	40.8	178,305	38.0	100,948	56.6	160,633	38.5
資 産 合 計	683,610	100.0	469,048	100.0	214,562	45.7	417,361	100.0

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期		当第1四半期		増 減		前第2四半期	
	平成19年9月30日現在		平成19年6月30日現在				平成18年9月30日現在	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	増減率 (%)	金 額	構成比 (%)
(負債の部)								
I. 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	58,028		29,629		28,399		30,228	
2. 短期借入金	16,812		—		16,812		—	
3. 1年内返済予定の長期借入金	3,634		—		3,634		—	
4. コマーシャル・ペーパー	—		7,991		△ 7,991		7,497	
5. 未払法人税等	11,318		4,340		6,978		15,219	
6. 未払費用	24,145		15,968		8,177		20,201	
7. 賞与引当金	6,116		2,282		3,834		4,134	
8. その他	22,184		18,108		4,076		15,452	
流動負債合計	142,239	20.8	78,320	16.7	63,919	81.6	92,734	22.2
II. 固定負債								
1. 社 債	99,963		—		99,963		—	
2. 長期借入金	20,123		—		20,123		—	
3. 繰延税金負債	5,029		—		5,029		—	
4. 退職給付引当金	10,810		—		10,810		—	
5. 役員退職慰労金	270		—		270		—	
6. 特別修繕引当金	1,195		977		218		662	
7. その他	2,070		1,800		270		1,274	
固定負債合計	139,462	20.4	2,778	0.6	136,684	—	1,936	0.5
負債合計	281,702	41.2	81,098	17.3	200,604	247.4	94,671	22.7
(純資産の部)								
I. 株主資本								
1. 資 本 金	6,264		6,264		—		6,264	
2. 資本剰余金	15,898		15,898		—		15,898	
3. 利益剰余金	343,323		324,177		19,146		297,696	
4. 自己株式	△ 8,170		△ 12,064		3,894		△ 15,521	
5. 自己株式申込証拠金	—		5		△ 5		16	
株主資本合計	357,316	52.3	334,281	71.3	23,035	6.9	304,353	72.9
II. 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	△ 157		63		△ 220		△ 7	
2. 為替換算調整勘定	36,069		51,342		△ 15,273		16,658	
評価・換算差額等合計	35,911	5.2	51,405	10.9	△ 15,494	△ 30.1	16,651	4.0
III. 新株予約権	476	0.1	346	0.1	130	37.6	—	—
III. 少数株主持分	8,203	1.2	1,916	0.4	6,287	328.1	1,685	0.4
純資産合計	401,907	58.8	387,950	82.7	13,957	3.6	322,690	77.3
負債及び純資産合計	683,610	100.0	469,048	100.0	214,562	45.7	417,361	100.0

(注)

	当第2四半期	当第1四半期	前第2四半期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	236,159 百万円	237,877 百万円	196,198 百万円
2. 担保資産	2,971 百万円	—	—
担保付債務	288 百万円	—	—
3. 保証債務	2,478 百万円	2,672 百万円	2,702 百万円
4. 受取手形割引高	1,601 百万円	—	—
5. 自己株式数	2,208,619 株	3,261,279 株	4,196,357 株

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第2四半期 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日		前第2四半期 自平成18年7月1日 至平成18年9月30日		増 減		当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	増減額	増減率(%)	金 額	百分比 (%)
I. 売 上 高	100,980	100.0	99,079	100.0	1,901	1.9	97,779	100.0
II. 売 上 原 価	52,384	51.9	50,117	50.6	2,267	4.5	52,120	53.3
売 上 総 利 益	48,597	48.1	48,961	49.4	△ 364	△ 0.7	45,658	46.7
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	21,747	21.5	20,836	21.0	911	4.4	23,018	23.5
営 業 利 益	26,849	26.6	28,126	28.4	△ 1,277	△ 4.5	22,640	23.2
IV. 営 業 外 収 益	3,197	3.2	1,351	1.4	1,846	136.6	2,435	2.4
1. 受 取 利 息	1,293		777		516		1,030	
2. 持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,395		—		1,395		599	
3. そ の 他	510		574		△ 64		805	
V. 営 業 外 費 用	1,928	1.9	3,776	3.9	△ 1,848	△ 48.9	1,099	1.1
1. 支 払 利 息	155		2		153		10	
2. 売 上 割 引	226		186		40		234	
3. 為 替 差 損	682		2,692		△ 2,010		440	
4. 持 分 法 に よ る 投 資 損 失	—		293		△ 293		—	
5. そ の 他	864		603		261		415	
経 常 利 益	28,119	27.9	25,700	25.9	2,419	9.4	23,976	24.5
VI. 特 別 利 益	420	0.4	9,987	10.1	△ 9,567	△ 95.8	121	0.1
1. 固 定 資 産 売 却 益	419		9,540		△ 9,121		22	
2. そ の 他	1		447		△ 446		98	
VII. 特 別 損 失	2,279	2.3	3,355	3.4	△ 1,076	△ 32.1	1,089	1.1
1. 退 職 加 算 金	1,522		5		1,517		62	
2. 減 損 損 失	263		67		196		22	
3. 環 境 整 備 費	251		729		△ 478		5	
4. 固 定 資 産 処 分 損	209		2,539		△ 2,330		66	
5. そ の 他	34		14		20		932	
税金等調整前四半期純利益	26,260	26.0	32,332	32.6	△ 6,072	△ 18.8	23,008	23.5
法人税、住民税及び事業税	6,053	6.0	11,015	11.1	△ 4,962	△ 45.0	3,956	4.0
法人税等調整額	△ 775	△ 0.8	△ 1,602	△ 1.6	827	△ 51.6	1,932	2.0
少数株主利益(又は損失)	△ 37	0.0	22	0.0	△ 59	—	21	0.0
四 半 期 純 利 益	21,020	20.8	22,899	23.1	△ 1,879	△ 8.2	17,097	17.5
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	48.64 円		53.16 円		△ 4.52 円		39.61 円	
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	48.55 円		52.96 円		△ 4.41 円		39.51 円	

(注) 在外連結子会社の経営成績の換算に関する事項

(1) 当第2四半期の売上高・損益を、前第2四半期為替レートで換算した場合の金額とその差額

科 目	当第2四半期為替レート換算	前第2四半期為替レート換算	差 額
売 上 高	100,980 百万円	99,463 百万円	1,517 百万円
営 業 利 益	26,849 百万円	25,257 百万円	1,592 百万円
経 常 利 益	28,119 百万円	26,251 百万円	1,868 百万円
四 半 期 純 利 益	21,020 百万円	19,401 百万円	1,619 百万円

(2) 主要通貨の当四半期換算レートと前年同期比変動率

主要通貨	当第2四半期為替レート	前第2四半期為替レート	変 動 率	当第1四半期為替レート
USドル US\$	116.81 円	116.69 円	-0.1% (円安)	121.58 円
ユーロ EURO	161.68 円	148.92 円	-8.6% (円安)	163.99 円
タイ・バーツ BAHT	3.76 円	3.09 円	-21.7% (円安)	3.77 円

円換算基準：毎月末の東京外国為替市場の相場仲値単純平均

(変動率が-の場合は円安)

### (3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第2四半期(自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日)

(単位:百万円未満切捨)

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	自己株式 申込証拠金	
平成19年6月30日残高	6,264	15,898	324,177	△ 12,064	5	334,281
四半期中の変動額						
四半期純利益			21,020			21,020
自己株式の取得				△ 5		△ 5
自己株式の処分			△ 1,874	3,899	△ 5	2,019
その他						
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						
四半期中の変動額合計	-	-	19,146	3,893	△ 5	23,034
平成19年9月30日残高	6,264	15,898	343,323	△ 8,170	-	357,316

	評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年6月30日残高	63	51,342	51,405	346	1,916	387,950
四半期中の変動額						
四半期純利益						21,020
自己株式の取得						△ 5
自己株式の処分						2,019
その他						
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	△ 221	△ 15,272	△ 15,494	130	6,286	△ 9,077
四半期中の変動額合計	△ 221	△ 15,272	△ 15,494	130	6,286	13,957
平成19年9月30日残高	△ 157	36,069	35,911	476	8,203	401,907

(注)

1. 発行済株式数に関する事項

株式の種類	平成19年 6月30日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成19年 9月30日残高
普通株式	435,017,020	-	-	435,017,020

単位:株

2. 自己株式数に関する事項

株式の種類	平成19年 6月30日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成19年 9月30日残高
普通株式	3,261,279	1,373	1,054,033	2,208,619

単位:株

増加・減少の内訳(理由)は次のとおりであります。

単元未満株式の買取による増加	1,373株
単元未満株式の買増請求による減少	33株
ストックオプション行使による減少	1,054,000株

前第2四半期（自 平成18年7月1日 至 平成18年9月30日）

（単位：百万円未満切捨）

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	自己株式 申込証拠金	
平成18年6月30日残高	6,264	15,898	274,708	△ 15,954	3	280,920
四半期中の変動額						
四半期純利益			22,899			22,899
自己株式処分差損			△ 200			△ 200
自己株式の取得				△ 2		△ 2
自己株式の処分				436		436
在外連結子会社の会計基準 変更に伴う変動額			290			290
その他					13	13
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額（純額）						
四半期中の変動額合計	—	—	22,988	433	13	23,433
平成18年9月30日残高	6,264	15,898	297,696	△ 15,521	16	304,353

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年6月30日残高	△ 30	6,966	6,935	878	288,734
四半期中の変動額					
四半期純利益					22,899
自己株式処分差損					△ 200
自己株式の取得					△ 2
自己株式の処分					436
在外連結子会社の会計基準 変更に伴う変動額					290
その他					13
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額（純額）	23	9,692	9,716	807	10,523
四半期中の変動額合計	23	9,692	9,716	807	33,956
平成18年9月30日残高	△ 7	16,658	16,651	1,685	322,690

（注）

1. 発行済株式数に関する事項

株式の種類	平成18年 6月30日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成18年 9月30日残高
普通株式	435,017,020	—	—	435,017,020

単位：株

2. 自己株式数に関する事項

株式の種類	平成18年 6月30日残高	四半期中 の増加	四半期中 の減少	平成18年 9月30日残高
普通株式	4,313,419	633	117,695	4,196,357

単位：株

増加・減少の内訳（理由）は次のとおりであります。

単元未満株式の買取による増加	633 株
単元未満株式の買増請求による減少	95 株
ストックオプション行使による減少	117,600 株

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

項 目	期 別		増 減 金 額	当第1四半期 自平成19年4月 1日 至平成19年6月30日 金 額
	当第2四半期 自平成19年7月 1日 至平成19年9月30日 金 額	前第2四半期 自平成18年7月 1日 至平成18年9月30日 金 額		
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期純利益	26,260	32,332	△ 6,072	23,008
減価償却	9,136	8,512	624	9,985
減損	262	67	195	22
貸倒引当金の増加額又は減少額(△)	△ 13	△ 14	1	225
賞与引当金の増加額又は減少額(△)	1,861	1,834	27	△ 2,099
特別修繕引当金の増加額又は減少額(△)	219	△ 155	374	81
受取利息及び受取配当金	△ 1,294	△ 789	△ 505	△ 1,050
支払利息	155	2	153	10
為替差損又は為替差益(△)	△ 1,256	3,256	△ 4,512	2,195
持分法による投資損失又は投資利益(△)	△ 1,395	293	△ 1,688	△ 599
固定資産売却益	△ 419	△ 9,539	9,120	△ 22
固定資産処分損	209	2,538	△ 2,329	66
投資有価証券評価損	—	7	△ 7	871
その他の	△ 417	696	△ 1,113	1,966
売上債権の増加額(△)又は減少額	△ 2,588	△ 7,633	5,045	1,570
たな卸資産の増加額(△)	△ 818	△ 199	△ 619	△ 2,899
その他流動資産の減少額又は増加額(△)	1,253	2,848	△ 1,595	△ 1,695
仕入債務の増加額又は減少額(△)	△ 1,419	292	△ 1,711	30
未払消費税等の増加額又は減少額(△)	△ 344	△ 709	365	939
その他の流動負債の増加額	1,846	915	931	787
小計	31,237	34,554	△ 3,317	33,395
利息及び配当金の受取額	1,239	798	441	972
利息の支払額	△ 77	△ 2	△ 75	△ 10
訴訟和解金の支払額	△ 321	—	△ 321	—
法人税等の支払額	△ 1,628	△ 333	△ 1,295	△ 12,541
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,450	35,017	△ 4,567	21,815
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出	△ 12,267	△ 14,153	1,886	△ 10,212
有形固定資産の売却による収入	492	421	71	135
投資有価証券の取得による支出	—	△ 84	84	△ 0
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 72,097	—	△ 72,097	△ 364
貸付による支出	△ 43	△ 10	△ 33	△ 0
貸付金の回収による収入	17	33	△ 16	8
その他の投資に関する支出	△ 283	△ 998	715	△ 554
その他の投資に関する収入	60	49	11	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 84,120	△ 14,741	△ 69,379	△ 10,891
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の借入及び返済による収入及び支出(△)(純額)	△ 7,991	△ 22,502	14,511	7,991
社債の発行による収入	99,677	—	99,677	—
自己株式の取得による支出	△ 5	△ 2	△ 3	△ 3
自己株式の売却による収入	2,019	250	1,769	368
親会社による配当金の支払額	△ 728	—	△ 728	△ 14,336
少数株主への配当金の支払額	△ 40	△ 2	△ 40	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	92,930	△ 22,256	115,186	△ 5,980
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 4,762</b>	<b>216</b>	<b>△ 4,978</b>	<b>6,045</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>34,497</b>	<b>△ 1,764</b>	<b>36,261</b>	<b>10,988</b>
<b>VI 現金及び現金同等物期首残高</b>	<b>131,610</b>	<b>100,449</b>	<b>31,161</b>	<b>120,621</b>
<b>VII 現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>166,108</b>	<b>98,685</b>	<b>67,423</b>	<b>131,610</b>

(注) 1. 連結キャッシュ・フロー計算書の△は、現金及び現金同等物の流出を示しております。

2. 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に記載されている科目の金額(単位：百万円未満切捨)

	当第2四半期 平成19年 9月30日現在	前第2四半期 平成18年 9月30日現在	当第1四半期 平成19年 6月30日現在
現金及び預金勘定	167,643	98,685	131,610
預入期間が3ヶ月超の定期預金	△ 1,535	—	—
現金及び現金同等物	166,108	98,685	131,610

## (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

[有価証券及びデリバティブ取引に係る注記]

(単位：百万円未満切捨)

### 1. 時価のある有価証券

区分	当第2四半期 (平成19年9月30日現在)			当第1四半期 (平成19年6月30日現在)			前第2四半期 (平成18年9月30日現在)		
	取得原価	連結貸借 対照表 計上額	差 額	取得原価	連結貸借 対照表 計上額	差 額	取得原価	連結貸借 対照表 計上額	差 額
その他有価証券									
①株 式	4,567	4,265	△ 302	1,694	1,795	101	1,692	1,685	△ 7
②債 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国債・地方債等	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,567	4,265	△ 302	1,694	1,795	101	1,692	1,685	△ 7

### 2. 時価評価されていない主な有価証券（時価のある有価証券のうち満期保有目的の債券を除く）

区分	当第2四半期 (平成19年9月30日現在)		当第1四半期 (平成19年6月30日現在)		前第2四半期 (平成18年9月30日現在)	
	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額	連結貸借対照表	計上額
(1)関係会社株式						
①非上場株式		14,304		12,977		10,123
計		14,304		12,977		10,123
(2)その他有価証券						
①非上場株式		1,143		186		882
②そ の 他		332		259		264
計		1,475		445		1,146

### 3. デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益（当第2四半期、当第1四半期）

#### (1) 取引の状況に関する事項

取引の内容及び利用目的等

当社グループは、為替相場の変動によるリスクを軽減するため、為替予約取引を行なっております。

イ ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。また、為替変動リスクのヘッジについて振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を採用しております。

ロ ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段… 為替予約

ヘッジ対象… 外貨建借入金、外貨建貸付金

#### (2) 取引の時価等に関する事項

通貨関連

種 類	契約額等	契約額等のうち 1年超	時 価	評価損益
為替予約取引				
売建 米ドル	10,611	1,034	10,626	15
ユーロ	12,832	—	12,832	—
買建 米ドル	1,305	—	1,305	—
ユーロ	3,423	1,034	3,465	42

(注) 1. 時価の算定方法：先物為替相場を使用しております。

2. 「外貨建取引等会計処理基準」により、外貨建金銭債権債務に振り当てたデリバティブ取引については、開示の対象から除いております。

金利関連

種 類	契約額等	契約額等のうち 1年超	時 価	評価損益
金利スワップ取引				
受取変動・				
支払固定	11,895	11,895	△ 60	—

(注) 1. 時価の算定方法：

スワップ取引にかかる契約金額は想定元本であり、この金額自体がデリバティブ取引にかかる市場リスク量を示すものではありません。

2. 時価の算定方法は、金利スワップ契約等を締結している金融機関から提示された価格に基づき算定しております。

[税効果会計に係る注記]

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円未満切捨)

(1) 流動の部	当第2四半期	当第1四半期	前第2四半期
	平成19年 9月30日現在	平成19年 6月30日現在	平成18年 9月30日現在
繰延税金資産			
たな卸資産評価損否認額	2,831	111	—
たな卸資産未実現利益	2,710	2,671	1,965
賞与引当金否認額	2,408	798	1,544
未払事業税否認額	654	80	950
環境整備費否認額	101	—	1,701
工場閉鎖損失	—	—	404
その他	2,008	1,595	1,298
繰延税金資産 小計	10,715	5,257	7,863
評価性引当額	△ 253	—	—
繰延税金資産 合計	10,461	5,257	7,863
繰延税金負債	△ 137	△ 20	—
(2) 固定の部			
繰延税金資産			
繰越欠損金	3,700	—	—
退職給付引当金否認額	3,489	—	—
減価償却損金算入限度超過額	1,647	1,434	1,738
投資有価証券評価損否認額	1,217	—	—
減損損失否認額	580	653	619
固定資産処分損否認額	518	518	518
時価評価差額	382	—	—
貸倒引当金損金算入限度超過額	107	110	111
その他	2,857	734	734
繰延税金資産 小計	14,500	3,451	3,723
評価性引当額	△ 5,479	—	—
繰延税金資産 合計	9,021	3,451	3,723
繰延税金負債			
時価評価差額	△ 8,083	—	—
その他有価証券評価差額金	△ 687	△ 42	—
固定資産圧縮積立金	△ 351	△ 304	△ 332
土地未実現利益	△ 316	—	—
特別償却準備金	△ 216	△ 235	△ 233
その他	△ 167	△ 316	△ 165
繰延税金負債 合計	△ 9,824	△ 900	△ 732
繰延税金資産の純額	△ 802	2,551	2,991

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	当第2四半期	前第2四半期	当第1四半期
	自平成19年7月1日 至平成19年9月30日	自平成18年7月1日 至平成18年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
連結財務諸表提出会社の法定実効税率 (調整)	40.4 %	40.4 %	40.4 %
海外連結子会社の税率差異	△ 17.4	△ 15.6	△ 16.3
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.5	0.4	0.4
住民税均等割等	0.0	0.1	0.0
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	—	0.0	△ 6.6
受取配当金等連結消去に伴う影響額	2.0	0.0	6.6
持分法による投資損益	△ 2.1	0.4	△ 1.1
試験研究費等の特別税額控除	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3
外国税額控除	△ 4.8	—	—
その他	1.7	3.7	2.5
税効果会計適用後の法人税等の負担率	20.1	29.1	25.6

[固定資産の減損に係る注記]

(単位：百万円未満切捨)

当社は、ビジネス・ユニットを基準として、資産のグループ化を行っており、以下の資産グループについて減損処理をしております。

1. クリスタル部門における東京スタジオ（昭島工場内）

場 所 : 東京都昭島市  
 用 途 : クリスタル製造設備等  
 種 類 : 機械装置等

クリスタル部門は、市場の低迷により個人需要・法人向けギフトともに落ち込みが大きいため、同部門に係る資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を次のとおり減損損失として特別損失に計上しました。

	当第2四半期 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日	前第2四半期 自平成18年7月1日 至平成18年9月30日	当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
機械装置他	51	67	22
計	<u>51</u>	<u>67</u>	<u>22</u>

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを5%で割引いて算定しております。

2. ヘルスケア部門における権利（米国）

場 所 : サンディエゴ（米国）  
 用 途 : ヘルスケア製品の研究  
 種 類 : 無形固定資産

当第2四半期において、無形固定資産として計上していた権利の根拠となる競合禁止条項が解除される可能性があるため、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を次のとおり減損損失として特別損失に計上しました。

	当第2四半期 自平成19年7月1日 至平成19年9月30日	前第2四半期 自平成18年7月1日 至平成18年9月30日	当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
無形固定資産	211	—	—
計	<u>211</u>	<u>—</u>	<u>—</u>

なお、当資産の回収可能価額は使用価値を採用しており、将来キャッシュ・フローを5%で割引いて算定しております。

[ 企業結合等関係 ] (パーチェス法適用関係)

1. 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合を行った理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称及び取得した議決権比率

- (1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業	ペンタックス株式会社
事業の内容	ライフケア、イメージングシステム、オプティカルコンポーネント各製品の製造及び販売等

- (2) 企業結合を行った主な理由

当社とペンタックスは、両者の保有する経営資源を相互補完的に活用することにより、強固な経営基盤を確立するとともに、両者の得意な光学・精密加工技術によって、魅力ある製品を開発し、より広い範囲の顧客に対して提供を行うことにより、企業価値の創出を図ってまいります。経営統合後は、事業ポートフォリオの最適化を図り、競争力のさらなる強化を実現することを目指してまいります。

- (3) 企業結合日 平成19年8月14日

- (4) 企業結合の法的形式 株式取得

- (5) 結合後企業の名称 ペンタックス株式会社

- (6) 取得した議決権比率 90.58%  
(なお、当四半期末日においては90.83%の議決権を所有しております。)

2. 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

当四半期末日（当中間連結会計期間末日に同じ）を取得日として、貸借対照表のみを連結しております。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

株式取得費用	94,482 百万円
株式取得に直接要した支出	296
取得原価	94,778

4. 発生したのれん又は負ののれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

- (1) のれん金額 46,718 百万円

- (2) 発生原因 企業結合時の時価純資産が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

- (3) 償却方法及び償却期間 10年間で均等償却

[1株当たり情報]

科 目	当第2四半期	前第2四半期	当第1四半期
	自 平成19年7月 1日 至 平成19年9月30日	自 平成18年7月 1日 至 平成18年9月30日	自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日
1株当たり純資産額（円）	908.55	745.06	893.29
1株当たり四半期純利益金額（円）	48.64	53.16	39.61
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額（円）	48.55	52.96	39.51

(注)

1株当たり純資産額、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

科 目	当第2四半期	前第2四半期	当第1四半期
	自 平成19年7月 1日 至 平成19年9月30日	自 平成18年7月 1日 至 平成18年9月30日	自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日
<b>1株当たり純資産額</b>			
連結貸借対照表上の純資産額（百万円）	401,907	322,690	387,950
普通株主に帰属しない金額（百万円）	8,679	1,701	2,268
（うち少数株主持分）	8,203	1,685	1,916
（うち自己株式申込証拠金）	—	16	5
（うち新株予約権）	476	—	346
普通株式に係る純資産額（百万円）	393,227	320,988	385,681
自己株式を除いた期末発行済株式数（株）	432,808,401	430,820,663	431,755,741
<b>1株当たり四半期純利益金額</b>			
四半期純利益（百万円）	21,020	22,899	17,097
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—	—
普通株式に係る四半期純利益（百万円）	21,020	22,899	17,097
期中平均株式数（株）	432,171,861	430,752,119	431,670,794
<b>潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額</b>			
四半期純利益（百万円）	21,020	22,899	17,097
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—	—
普通株式に係る四半期純利益（百万円）	21,020	22,899	17,097
普通株式増加数（株）	825,716	1,626,056	1,087,345
（うち新株予約権）（株）	(825,716)	(1,626,056)	(1,087,345)
潜在株式調整後期中平均株式数（株）	432,997,577	432,378,175	432,758,139

[重要な後発事象]

「当社とペンタックス株式会社の合併について」

当社は、平成19年10月29日開催の当社取締役会において、連結子会社でありますペンタックス株式会社と、平成20年3月31日をもって合併するという合併契約書の締結を承認いたしました。

本件につきましては、別途東京証券取引所に「合併契約締結に関するお知らせ」を提出しております。また、当社ホームページにも掲載しておりますのでご参照下さい。

「ストックオプションに関するお知らせ」

当社は、平成19年10月29日開催の当社取締役会において、当社の取締役に対しストックオプションとして新株予約権を発行することを決議しております。

なお、当社取締役に対しストックオプションとして発行する新株予約権につきましては、報酬委員会の審議に基づき、取締役会で決議しております。

本件につきましては、別途東京証券取引所に「取締役に対するストックオプション（新株予約権）の発行に関するお知らせ」を提出しております。また、当社ホームページにも掲載しておりますのでご参照下さい。

東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ)：

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

当社ホームページ：

[http://www.hoya.co.jp/HOYA\\_DYNAMIC/index.cfm?fuseaction=investor.news](http://www.hoya.co.jp/HOYA_DYNAMIC/index.cfm?fuseaction=investor.news)

## (6) セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円未満切捨)

期 別 セグメント 科 目	当第2四半期：自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日								
	情報・通信		アイケア		ペンタックス	その他	計	消去又は 全社	連結
	エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア					
1. 売上高及び営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	55,186	2,271	31,369	11,908	—	245	100,980	—	100,980
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	56	51	△ 0	—	—	699	807	(807)	—
計	55,243	2,322	31,368	11,908	—	944	101,788	(807)	100,980
営業費用	36,162	2,163	25,696	8,953	—	1,046	74,023	107	74,130
営業利益	19,081	159	5,672	2,954	—	△ 102	27,765	(915)	26,849
営業利益率 (%)	34.5%	6.9%	18.1%	24.8%	—	-10.8%	27.3%	—	26.6%
2. 資産、減価償却費及び資本的支出等									
資産	243,708	7,563	126,540	22,825	205,672	2,633	608,943	74,666	683,610
減価償却費	6,814	37	1,911	313	—	12	9,088	48	9,136
減損損失	—	—	—	211	—	51	263	—	263
資本的支出	6,968	20	2,845	276	—	47	10,159	(3)	10,156
研究開発費	1,994	288	164	347	—	4	2,800	—	2,800
従業員数(名)	19,636	199	7,700	957	6,018	215	34,725	68	34,793

期 別 セグメント 科 目	前第2四半期：自 平成18年7月1日 至 平成18年9月30日								
	情報・通信		アイケア		ペンタックス	その他	計	消去又は 全社	連結
	エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア					
1. 売上高及び営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	57,134	2,223	28,985	10,423	—	314	99,079	—	99,079
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	91	77	△ 0	△ 0	—	646	812	(812)	—
計	57,225	2,299	28,984	10,423	—	960	99,892	(812)	99,079
営業費用	35,449	2,176	23,731	7,996	—	1,137	70,488	464	70,954
営業利益	21,777	123	5,253	2,427	—	△ 176	29,404	(1,278)	28,126
営業利益率 (%)	38.1%	5.4%	18.1%	23.3%	—	-18.3%	29.4%	—	28.4%
2. 資産、減価償却費及び資本的支出等									
資産	250,542	7,802	111,318	19,867	—	2,719	392,251	25,110	417,361
減価償却費	6,464	29	1,690	255	—	10	8,450	61	8,512
減損損失	—	—	—	—	—	67	67	—	67
資本的支出	12,287	39	3,718	429	—	75	16,548	477	17,025
研究開発費	2,773	278	429	317	—	15	3,814	—	3,814
従業員数(名)	19,281	204	7,388	815	—	225	27,913	61	27,974

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです：

期 別 セグメント 科 目	増 減								
	情報・通信		アイケア		ペンタックス	その他	計	消去又は 全社	連結
	エレクトロ オプティクス	ホニクス	ビジョンケア	ヘルスケア					
売上高 増減額									
(1) 外部顧客に対する売上高増減額	△ 1,948	48	2,384	1,485	—	△ 69	1,901	—	1,901
外部売上高の増減率 (%)	-3.4%	2.2%	8.2%	14.2%	—	-22.0%	1.9%	—	1.9%
(2) セグメント間売上高又は振替高増減額	△ 35	△ 26	0	0	—	53	△ 5	5	—
計	△ 1,982	23	2,384	1,485	—	△ 16	1,896	5	1,901
営業費用増減額	713	△ 13	1,965	957	—	△ 91	3,535	△ 357	3,176
営業損益増減額	△ 2,696	36	419	527	—	74	△ 1,639	363	△ 1,277
営業損益の増減率 (%)	-12.4%	29.3%	8.0%	21.7%	—	—	-5.6%	—	-4.5%
営業利益率の増減(ポイント)	△ 3.5	1.6	△ 0.0	1.5	—	7.5	△ 2.2	—	△ 1.8
資産 増減額	△ 6,834	△ 239	15,222	2,958	205,672	△ 86	216,692	49,556	266,249
減価償却費 増減額	350	8	221	58	—	2	638	△ 13	624
減損損失 増減額	—	—	—	211	—	△ 16	196	—	196
資本的支出 増減額	△ 5,319	△ 19	△ 873	△ 153	—	△ 28	△ 6,389	△ 480	△ 6,869
研究開発費 増減額	△ 779	10	△ 265	30	—	△ 11	△ 1,014	—	△ 1,014
従業員数(名) 増減数	355	△ 5	312	142	6,018	△ 10	6,812	7	6,819

(注)

1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要製品及び役務の名称

- (1) 当四半期より、ペンタックス株式会社を連結の範囲に含めておりますので、事業区分並びに主要製品及び役務につき下記のように変更いたします。ペンタックス株式会社及びその子会社は、主として3つの事業を展開しておりますが、セグメント情報は、分野・事業区分とも「ペンタックス」として記載しております。

当四半期は、ペンタックスに関しましては、損益計算書は連結しておらず（第3四半期からの連結）、セグメント情報につきましては資産および従業員数のみ連結しております。

分野	事業	主要製品及び役務
情報・通信	エレクトロ	半導体用フォトマスク・マスクブランクス、液晶用マスク・液晶部品、
	オプティクス	HDD用ガラスディスク、光学レンズ・光学ガラス、電子用ガラス、光通信関連デバイス
	ホトニクス	各種レーザー機器、電子産業用光源、特殊光学ガラス
アイケア	ビジョンケア	メガネ用レンズ・フレーム
	ヘルスケア	コンタクトレンズ、眼内レンズ
ペンタックス	ライフケア	内視鏡、メカニカルアクセサリ、骨補填材、充填剤
	イメージングシステム	デジタルカメラ、交換レンズ、カメラ用アクセサリ
	オプティカルコンポーネント	デジタルカメラモジュール、微小レンズ、監視カメラ用レンズ
その他		クリスタルガラス製品、情報システム構築、業務請負

- (2) 当第1四半期までの事業区分並びに主要製品及び役務は次のとおりであります。

分野	事業	主要製品及び役務
情報・通信	エレクトロ	半導体用フォトマスク・マスクブランクス、液晶用マスク・液晶部品、
	オプティクス	HDD用ガラスディスク、光学レンズ・光学ガラス、電子用ガラス、光通信関連デバイス
	ホトニクス	各種レーザー機器、電子産業用光源、特殊光学ガラス
アイケア	ビジョンケア	メガネ用レンズ・フレーム
	ヘルスケア	コンタクトレンズ、眼内レンズ
その他		クリスタルガラス製品、情報システム構築、業務請負

※ 当社の事業区分の方法は、製品の種類・性質等の類似性を考慮して区分しております。

2. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、

当第2四半期 868百万円、 前第2四半期 1,231百万円  
であり、その主なものは、本社部門並びに海外の地域本社に係る費用であります。

3. 資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、

当第2四半期 100,737百万円、 前第2四半期 19,253百万円

であり、その主なものは、余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び本社部門並びに海外の地域本社に係る資産等であります。

## 2. 所在地別セグメント情報

(単位：百万円未満切捨)

科目	セグメント	当第2四半期：自平成19年7月1日 至 平成19年9月30日						
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連結
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高		68,317	9,848	13,808	9,005	100,980	—	100,980
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		6,438	94	154	40,119	46,807	(46,807)	—
計		74,756	9,943	13,963	49,124	147,787	(46,807)	100,980
営業費用		64,241	9,461	12,633	36,693	123,029	(48,898)	74,130
営業利益		10,515	482	1,330	12,430	24,758	2,091	26,849
営業利益率 (%)		14.1%	4.9%	9.5%	25.3%	16.8%	—	26.6%
2. 資産		303,915	46,354	73,691	247,650	671,612	11,998	683,610

科目	セグメント	前第2四半期：自平成18年7月1日 至 平成18年9月30日						
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連結
1. 売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高		70,328	9,016	11,539	8,197	99,079	—	99,079
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		7,131	68	247	41,256	48,702	(48,702)	—
計		77,458	9,083	11,786	49,453	147,781	(48,702)	99,079
営業費用		66,882	9,073	10,664	34,141	120,759	(49,804)	70,954
営業利益		10,577	11	1,123	15,313	27,023	1,103	28,126
営業利益率 (%)		13.7%	0.1%	9.5%	31.0%	18.3%	—	28.4%
2. 資産		176,164	13,331	91,006	193,604	474,106	(56,744)	417,361

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです：

科目	セグメント	増 減						
		日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高 増減額								
(1)外部顧客に対する売上高増減額		△ 2,011	832	2,269	808	1,901	—	1,901
外部売上高増減率 (%)		-2.9%	9.2%	19.7%	9.9%	1.9%	—	1.9%
(2)セグメント間売上高又は振替高増減額		△ 693	26	△ 93	△ 1,137	△ 1,895	1,895	—
計		△ 2,702	860	2,177	△ 329	6	1,895	1,901
営業費用増減額		△ 2,641	388	1,969	2,552	2,270	906	3,176
営業利益額増減額		△ 62	471	207	△ 2,883	△ 2,265	988	△ 1,277
営業利益額増減率 (%)		-0.6%	—	18.4%	-18.8%	-8.4%	—	-4.5%
資産 増減額		127,751	33,023	△ 17,315	54,046	197,506	68,742	266,249

(注) 1. 当第2四半期より、ペンタックス株式会社を連結の範囲に含めておりますが、損益計算書は連結しておらず（第3四半期からの連結）、所在地別セグメント情報につきましては資産のみ連結しております。

2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっており、当社グループ事業所の所在地別の区分であります。

(2) 各区分に属する主な国・地域…北米：米国、カナダ等

欧州：オランダ、ドイツ、イギリス等（南アフリカを含む）

アジア：シンガポール、タイ、中国、韓国、台湾、オーストラリア等

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、

当第2四半期 833百万円、 前第2四半期 1,132百万円、

であり、その主なものは、本社部門に係る費用であります。

4. 資産のうち消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は、

当第2四半期 77,884百万円、 前第2四半期 16,955百万円、

であり、その主なものは、余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び本社部門に係る資産等であります。

### 3. 海外売上高

(単位：百万円未満切捨)

期別 科目 \ セグメント	当第2四半期 自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日				
	北米	欧州	アジア	その他の地域	合計
海外売上高	9,920	14,391	31,788	269	56,369
連結売上高					100,980
連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	9.8%	14.2%	31.5%	0.3%	55.8%
海外売上高における 地域別の割合 (%)	17.6%	25.5%	56.4%	0.5%	100.0%

期別 科目 \ セグメント	前第2四半期 自 平成18年7月1日 至 平成18年9月30日				
	北米	欧州	アジア	その他の地域	合計
海外売上高	10,875	12,091	30,390	0	53,356
連結売上高					99,079
連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	11.0%	12.2%	30.7%	0.0%	53.9%
海外売上高における 地域別の割合 (%)	20.4%	22.7%	56.9%	0.0%	100.0%

<参考> 前年同期との増減比較は、次のとおりです：

期別 科目 \ セグメント	増 減				
	北米	欧州	アジア	その他の地域	合計
海外売上高増減額	△ 955	2,300	1,398	269	3,013
連結売上高増減額					1,901
海外売上高増減率 (%)	-8.8%	19.0%	4.6%	-	5.6%

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
2. 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域
- (1) 国又は地域の区分の方法・・・・・・地理的近接度によっており、顧客の所在地別の区分であります。
- (2) 各区分に属する主な国又は地域・・・・北米：米国、カナダ等  
 欧州：オランダ、ドイツ、イギリス等  
 (南アフリカを含む)  
 アジア：シンガポール、タイ、中国、韓国、台湾、オーストラリア等  
 その他の地域：サウジアラビア、ブラジル等

(7) 販売の状況（四半期連結部門別売上高明細表）

(単位：百万円未満切捨)

分野・事業別	期 別	当第2四半期		前第2四半期		増 減		当第1四半期	
		自平成19年7月1日 至平成19年9月30日		自平成18年7月1日 至平成18年9月30日				自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	
		金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	増減率%	金 額	構成比%
	国 内	22,858	41.4	24,536	42.9	△ 1,678	△ 6.8	23,195	45.0
	海 外	32,328	58.6	32,597	57.1	△ 269	△ 0.8	28,353	55.0
	エレクトロオプティクス	55,186	54.7	57,134	57.7	△ 1,948	△ 3.4	51,549	52.7
	国 内	1,255	55.3	1,416	63.7	△ 161	△ 11.4	964	43.6
	海 外	1,016	44.7	806	36.3	210	26.1	1,246	56.4
	ホトニクス	2,271	2.2	2,223	2.2	48	2.2	2,210	2.3
	国 内	24,113	42.0	25,953	43.7	△ 1,840	△ 7.1	24,160	44.9
	海 外	33,344	58.0	33,404	56.3	△ 60	△ 0.2	29,599	55.1
	情報・通信	57,457	56.9	59,357	59.9	△ 1,900	△ 3.2	53,760	55.0
	国 内	8,815	28.1	9,365	32.3	△ 550	△ 5.9	8,622	26.6
	海 外	22,554	71.9	19,620	67.7	2,934	15.0	23,832	73.4
	ビジョンケア	31,369	31.1	28,985	29.3	2,384	8.2	32,455	33.2
	国 内	11,438	96.1	10,131	97.2	1,307	12.9	10,811	96.3
	海 外	470	3.9	292	2.8	178	61.0	411	3.7
	ヘルスケア	11,908	11.8	10,423	10.5	1,485	14.2	11,223	11.5
	国 内	20,253	46.8	19,496	49.5	757	3.9	19,434	44.5
	海 外	23,024	53.2	19,912	50.5	3,112	15.6	24,244	55.5
	アイケア	43,278	42.9	39,408	39.8	3,870	9.8	43,678	44.7
	国 内	245	100.0	274	87.3	△ 29	△ 10.6	340	100.0
	海 外	0	0.0	40	12.7	△ 40	—	0	0.0
	その他	245	0.2	314	0.3	△ 69	△ 22.0	340	0.3
	国 内	44,612	44.2	45,723	46.1	△ 1,111	△ 2.4	43,935	44.9
	海 外	56,369	55.8	53,356	53.9	3,013	5.6	53,843	55.1
合 計		100,980	100.0	99,079	100.0	1,901	1.9	97,779	100.0